

追分高校です



広島平和記念式典

派遣事業に参加

8月5～7日の日程で、追高を代表して、1年生の吉木芽生さんが参加。派遣団のリーダーの役割を担いました。5日の出発式では、「核廃絶の訴えをテーマに、広島訪問を通じて、戦争や平和について改めて考え直し、自分の目で確かめたい。学んだことを地元安平町で伝えていきたい。」と述べました。猛暑が続く天候で、健康管理が心配されましたが、夏休み後の全体集会で、広島への派遣事業の報告。本

人はもとより、報告を受けた生徒にも刺激となり、改めて戦争や平和について考える良い機会となりました。



夏休み中もボランティア活動を行いました！

7月26日、早小の学習支援に3年生の島津直敬君が参加。島津君は昨年度のインターンシップや学習支援ボランティアでもお世話になり、児童の間でお馴染みの「先生」として、温かい雰囲気の中でボランティアに取り組みしました。また、7月29日には、追分あけぼの会の夏祭りボランティアに追高生11名が参加。日差しが厳しい一日でしたが、

誘導や屋台、イベント補助など、準備から後片付けまで精力的に活動しました。福祉系専門学校へ進学した卒業生の姿もあり、追高のボランティア活動精神の素晴らしさに感動しました。これからも、地域とともに活動していきます。



輝く！追高のセンパイ

その⑤

本校を卒業して日々頑張っている先輩たちを紹介していきます。今回は、今年3月に卒業し、専門学校へ進学した伊藤和恵さんです。

《伊藤和恵先輩》【北海道介護福祉専門学校・介護福祉科】

に進学

Q1 新しい学校生活はどうですか？

先生が優しく、一人ひとり

をよく見てくれていています。勉強は大変だけど、みんなが同じ目標に向かい、競いあって頑張っています。

Q2 追高時代の一番の思い出は何ですか？

部活動のバドミントン部で頑張ったこと。勉強も自分なりに頑張りました。

Q3 追高生に一言メッセージを！

今のうちにできることを頑張ってほしい。専門学校は毎日忙しいので、高校生活を楽しんで！



▼9月の行事予定

14日 薬物乱用防止教室

19～21日 宿泊研修(1年)

28日 終業式

生徒会役員選挙

▶皆様のご意見をお寄せください◀

北海道追分高等学校 (☎・FAX ☎2555)

〒059 - 1911 安平町追分本町7丁目8番地

ホームページで「追高の今」をご覧ください。

【<http://www.oiwake.hokkaido-c.ed.jp/>】

追高＝一人ひとりが主役の学校

追分高校は、少人数だからこそ、強い絆で結ばれた仲間と出会え、誰もが主役になれる学校です。

追分高校の教職員は、生徒一人ひとりをかけがえのない存在として認め、3年間かけて、自律した18歳に育て上げます。

追高＝一人ひとりを伸ばせる学校